

ネットワーク環境の事前評価に係る対応策

1. ネットワーク環境の事前評価（アセスメント）の実施について

各学校設置者においては、本年4月からの本格運用に向けた事前点検として、自らのネットワーク環境のアセスメントを行い、円滑な通信のために必要な環境が確保できているか確認すること。

ネットワーク環境のアセスメントの実施に当たっては、まずは各自のネットワーク環境構築または保守事業者等と相談し実施すること。その際、一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会（JAIPA）のウェブサイトにおいて情報提供しているネットワークアセスメント項目を参考にしながら検討することが望ましい。また、ISP事業者への相談先を検討するに当たっては、各地域の事業者情報がウェブサイトに掲載されているため、必要に応じて参考にされたい。

※一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会（JAIPA）とは、日本のインターネットプロバイダーの業界団体。インターネットプロバイダーはインターネットサービスプロバイダー（略称：ISP）とも呼ばれる。

- ネットワークアセスメント項目及び各地域のISP事業者情報について

<https://www.jaipa.or.jp/gigaschool/>

2. アセスメント結果を踏まえたネットワーク環境の改善について

アセスメントを実施した結果、ネットワーク環境に課題等があると評価された場合は、その課題に応じて、ネットワーク増強や契約の見直し、運用上の工夫等を行い、ネットワーク環境の改善を図ること。

その際、学校からのインターネット回線として光回線を利用していない学校については、以前は未光地域であった地域でも、光回線が利用できるように最近改善されているケースもあるため、改めて通信事業者への確認を行い、必要に応じて契約変更も検討するなど、GIGAスクール構想の趣旨を踏まえた充実したネットワーク環境の整備に努めること。

上記のような取組を進めるに当たっては、国の令和2年度補正予算に計上している「学習系ネットワークにおける通信環境の円滑化」（学校施設環境改善交付金）や「GIGAスクールサポーター配置支援事業」の活用についても併せて検討すること。

ネットワークに不安を抱える
地方自治体等

外部に協力依頼

自治体や保守業者等で確認

《 事前アセスメント 》 の実施

課題なしと
評価された場合

課題ありと
評価された場合

【判明した課題に応じて】

補正予算を活用して
ローカルブレイク
アウトを実施

独自財源を活用して
ネットワークを
増強・改修

その他契約の見直し、
運用上の工夫を実施

安定したネットワーク環境の下、1人1台端末を円滑に運用